

科学者委員会（第24期・第8回）議事要旨

1 日 時 平成30年6月18日（月）10時00分～13時00分

2 場 所 日本学術会議 大会議室（2階）

3 出席者

三成美保委員長、橋本伸也幹事、米田雅子幹事
(第一部) 岡崎哲二委員、佐藤岩夫委員
(第二部) 大杉立委員、名越澄子委員
(第三部) 藤井孝藏委員、藤井良一委員（ビデオ出席）、
渡辺芳人委員（ビデオ出席）
(その他) 岸村顕広委員

4 配布資料

- 資料1－1 第3回議事要旨案
資料1－2 第5回議事要旨案
資料2－1 「軍事的安全保障研究に関する声明」についてのアンケート
第二次集計結果報告
資料2－2 9月22日開催学術フォーラムについて
資料2－3 HPについて
資料3 「科学者」について
資料4－1 提言「我が国の研究評価システムの在り方～研究者を育成・支援
する評価システムへの転換～」(平成24年(2012年)10月26日
日本学術会議 研究にかかる「評価システム」の在り方検討委員会)
資料4－2 文部科学省における研究及び開発に関する評価指針
平成14年6月20日（最終改定 平成29年4月1日）（抜粋）
資料4－3 研究評価に関するサンフランシスコ宣言
資料4－4 研究計量に関するライデン声明について
資料4－5 大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参考基準に
ついて（解説）
資料5 科学者委員会運営要綱改正（案）
資料6 日本学術会議協力学術研究団体規程改正（案）
資料7 協力学術研究団体の指定に係る審査資料
資料8－1～5 分科会報告資料
資料9－1 東北地区会議等主催公開シンポジウムの開催について
資料9－2 近畿地区会議主催公開シンポジウムの開催について
資料9－3 公開シンポジウム「ハラスメントを鏡に、日本社会を検証する
——なぜまっとうな議論ができないのか？」の開催について
資料9－4 「女子中高生夏の学校 2018～科学・技術・人との出会い～」の
後援について シンポジウム等資料

の役員4名と佐藤先生で調整し、確定した段階でメールで連絡する。また、その段階で広報も同時に始めるので協力をお願いする。

(B委員) JAXAに長年在籍していたため、組織として誰かに参加してもらうことを交渉することはできる。また、JAXAは宇宙科学研究所を抱えていて、もともと東大の附置研究所で、JAXAになったときから非常にこの問題については議論しているため、宇宙科学研究所所長に出てきてもらう可能性がある。それもできない場合は、宇宙政策委員の中須賀先生等の大学の先生がいるので、ご意見を伺うのがいいのではないか。

(三成委員長) その点については、後ほど相談させていただきたい。

(B委員) あともう一つ、学協会でよく取り組んでいるのは、日本天文学会と日本物理学会というはその通りだが、工学系がないのが気になる。工学研究は防衛省では多いため、可能かどうか分からぬが、検討いただきたい。

(三成委員長) アンケートを学協会にもしたいと考えているが、今回のアンケートは大学等が限定のため、学協会の情報が十分に網羅されていない。今回の2つの学協会は情報提供という形で関わっていただこうと思う。学協会の全部を見渡しての紹介ではないことを説明する。JAXAについては相談しながら、どういう形で対応できるのか検討させていただく。回覧資料は参考資料の山極会長宛の防衛研究を求める自由市民の会の挨拶文とともに来た署名。こうした意見が届いているが、これは回答を求められているというわけではない。例えば学術フォーラムの時に、関係者が来て意見を出すということも考えられる。その時には対応をしてもらうことになるため、情報の共有をさせていただいた。そして、安全保障の関係では最後にホームページの件がある。軍事的安全保障研究については、マスコミや市民からの関心が非常に高いことから、独自ページを作る。今後科学者委員会のページを充実させていくと考えており、科学者委員会の活動の一つとして軍事的安全保障研究やゲノムの取り組みを紹介するページを作り、独自ページへリンクしたいと考えている。資料は完成版ではないが、トップに概要を書き、新しい記事を上に上げていくという形式にしようとしている。新しい記事が今、アンケートと第一次集計結果が既に科学者委員会ページに公表されているが、そのページの記事は残したうえで、独自ページに安全保障関連の情報を集約するという仕立てにしようと考えている。インパクトレポート、報告、声明の全文、過去の声明2つを全文又は抜粋、そして、第23期の検討委員会資料は膨大になっているため、検討委員会へのリンクを載せている。今後、科学者委員会は5つの分科会で活発な活動が行われているため、それぞれの分科会の活動の内容について紹介することも含めて協力いただきたい。それぞれの分科会の委員長とご相談させていただきたい。今日のところは、科学者委員会のホームページの充実化と、軍事的安全保障研究の独自ページの作成及び科学者委員会ホームページ内で見える化をすることについて承認いただきたい。

(佐藤委員) 配列の順序だが、新しいものから古いものへという流れは一般的にはあり得るが、この問題については、現時点での日本学術会議としての公式の到達点は声明と報告であり、それがどんどん下に行ってしまうのは、あたかもその